

明石市まち・ひと・しごと創生本部 第3回会議（議事概要）

日 時	平成 27 年 12 月 25 日（金）午前 10 時～午前 10 時 35 分
場 所	明石市役所議会棟大会議室
出席者	【本部長】市長 【副本部長】副市長 【本部員】教育長、理事、公営企業管理者、各部局長、担当部長 【司 会】政策部長 【事務局】政策室
傍聴者	3名
議 事	(1) 明石市人口ビジョン（最終案）について (2) 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について
配布資料	資料1 明石市人口ビジョン（最終案） 資料2 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）

1. 議 事

事務局より、明石市人口ビジョン（最終案）及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について、資料に基づき主要項目や素案からの変更点について説明の後、意見交換。

本部員から出された意見及び回答は下記のとおり。

(1) 明石市人口ビジョン（最終案）について

（本部員）

- ・平成 27 年の国勢調査の結果について、今後兵庫県の審査を経て、平成 28 年 1 月末に確定する予定である。現在の見込みでは、平成 27 年 10 月 1 日の人口は 29 万 2,000 人を若干上回ると思われる。

（事務局）

- ・明石市人口ビジョンにおける平成 27 年の設定値 293,000 人とほぼ同数のため、この最終案のとおり決定させていただきたい。

(2) 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について

（本部員）

- ・今回、新たに総合戦略に基本的な方向性についての説明を追加され、わかりやすい形となったが、明石市がめざす「未来中核都市」とはどのような意味を持つのか。

（事務局）

- ・未来中核都市とは、長期総合計画に掲げている未来という言葉と、周辺地域を含めて中核的な役割を果たす、30 万人規模の人口の受け皿となる中核都市を目指すとい

う意味である。

(事務局)

- ・ K P I で設定している待機児童ゼロという目標については、5年後にゼロを達成するという意味ではなく、速やかに取り組んでゼロを達成し、5年後においても維持するという意味で良いか。

(本部長)

- ・平成29年度の事業計画において、待機児童数ゼロを設定しており、5年後の数値目標という理解はしていない。

2. その他

事務局より、地方創生に関する国の平成27年度補正予算、平成28年度当初予算への計上が予定されている交付金の概要について、説明。

(事務局)

- ・厳しい財政状況のもと、新規拡充施策を推進していくためには、国の予算を確保していくことも重要であり、本日総合戦略を策定し、国の補正予算を獲得するための環境が整ったと言える。
- ・財源の確保に向けては、政策室及び財政部において、今後の国の動向について情報収集に努めていくが、所管部局においても、それぞれのネットワークを活用して情報収集に努めて頂きたい。

3. 閉 会

(本部長)

- ・本部会議という大きな会議において、明石市のまちの方向性について議論を重ね、本日総合戦略を取りまとめることができた。
- ・総合戦略に掲げる目標については、市民に広く理解いただき、まち全体で目標の達成に向けて取り組むためには、市民にも分かりやすく伝えることが大事である。そのために、3つのV字回復を踏まえた、「人口30万人」、「赤ちゃん3,000人」、「本の貸出冊数300万冊」という明石のトリプルスリーを目指すという目標を掲げるに至った。
- ・本市において、3つのV字が回復基調と明るい兆しが見え始めているなか、人口増に向けて本気で取り組みたいと考える。社会増のみならず自然増についてもしっかりと取り組み、それに加えてまちの質も上げていきたいという観点から、それぞれ意味のある3つの目標設定を行なった。
- ・1点目の人口30万人については、人口減少時代を迎えるなか、本市においては、直近3年間において人口が増加しており、更に施策を展開することにより人口増

は持続可能であると考えたためである。明石が選ばれている最大の理由は、自然が豊かで気候も温暖、交通の利便性が良い点など、もともと明石が良いまちであるからである。明石が持っている良い所を活かして、情報発信することにより、「選ばれるまち明石」を維持することができると考えている。施策に対するインセンティブを働かすためには、近隣都市より一歩前を行くつもりで取り組む必要がある。

- ・ 2点目の赤ちゃん 3,000 人については、これまでは社会増に焦点があったが、自然増についても取り組むことが重要であると考えたためである。結婚や出産を望む人が実現できる環境を整えることが行政の務めであるという観点から、自然増につながる施策展開が必要である。現在、出生数が 2,500 人にまで落ち込んでい
- る出生数を 3,000 人に戻すのは、相当高い目標であるが、実現に向けて努力していきたい。
- ・ 3点目の「本のまち 300 万冊」については、明石の文化の質を上げるという観点から、ソフト面からまちのブランドイメージを高め、質の面から明石のまちの発展を図りたいという考えである。
- ・ 今後広報あかし等で情報発信を行う予定であるが、分かりやすい形でしっかりと目標を掲げ、皆で協力し明石のまちの発展のため、努力を重ねていきたい。
- ・ 現在の好調な傾向を安定化させ、更に加速させていくため、是非皆様のお力添えをお願いしたい。

(副本部長)

- ・ 人口ビジョン及び総合戦略が策定できる運びとなったが、様々な事業がうまく機能してはじめて成果が出ると考えられる。大きな目標に向け、各部局しっかりと連携し、今まで以上に各部局間の施策の調整に取り組んでいただきたい。
- ・ 総合戦略の基本的な方向性として、人口目標 30 万人、子どもの出生数 3,000 人、本の貸出冊数 300 万冊という、市民にとっても分かりやすい目標ができたと感じている。今後は各部局で行うあらゆる事業において、トリプルスリーという大きな目標達成を意識しながら事業展開をお願いしたい。

以上